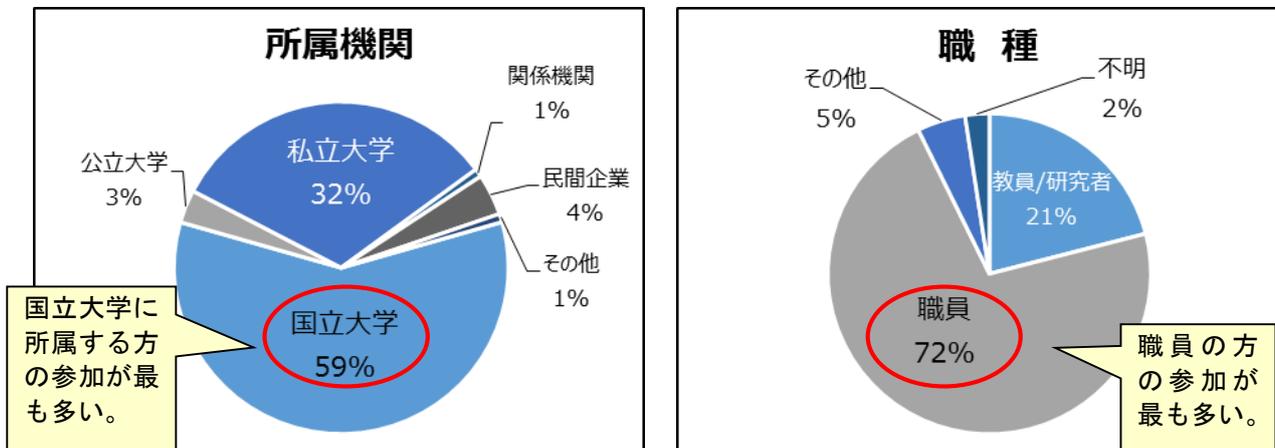


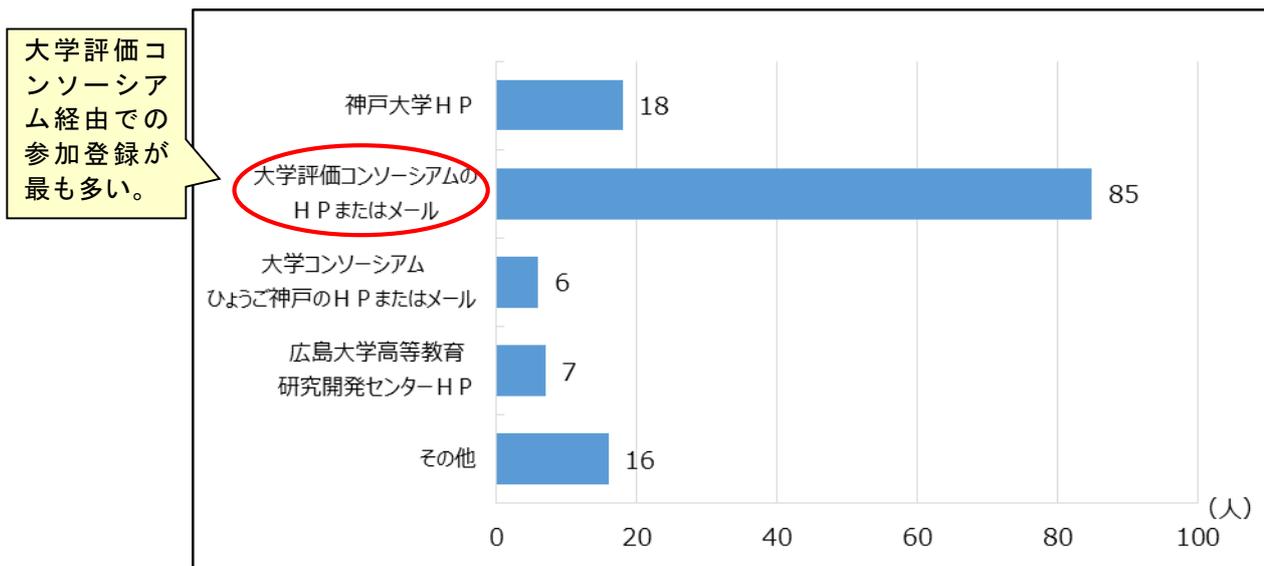
評価・IRシンポジウム「学習成果を把握するための評価・IR活動」
参加者アンケートの集計結果

回答数： 124 (配布： 158) 回答率： 78.48%

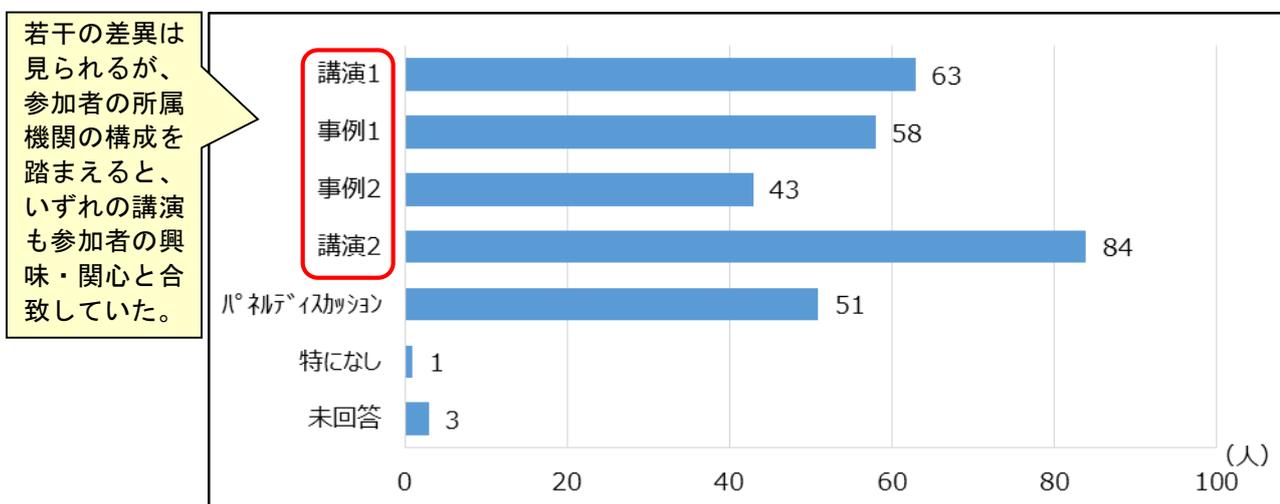
○回答者属性



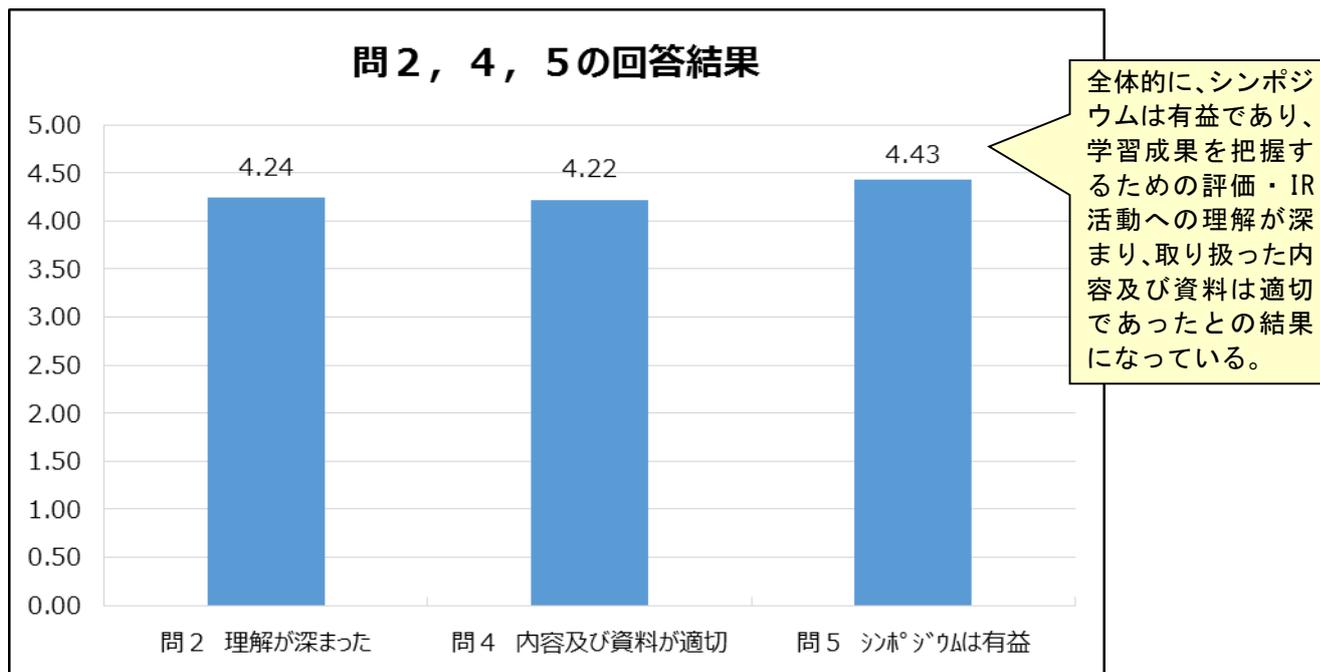
問1. シンポジウム情報の入手経路 (複数選択可)



問3. 興味・関心に合致したセッション (複数選択可)



問2、問4、問5（1つ選択）は、5段階評定で得点化可能な項目のため、有効回答を尺度変換（選択肢1～5まで数値が大きくなるにつれて評価がよくなるようにデータ変換）して集計。



○自由記述欄にご記入頂いた内容（抜粋）

設問	記載内容
問2の選択理由	<ul style="list-style-type: none"> ・他大学での見解や考え方が整理された資料により共有化されるので、学内でこれまで議論していたことが体系的に理解できた。 ・評価部門にいますが、教学の課題を十分に把握できていなかった。（教学委員会とFDにおまかせ）しかし、保証すべき質とは学習成果であるということがわかったので、ポイントをおさえて業務推進につなげたい。 ・具体的に何をしていけばいいのかわねられた感じで今後の評価活動が不安になりました。
問4の選択理由	<ul style="list-style-type: none"> ・整理されている上に、内容があると感じた。 ・意識的にポイントが絞られていたと感じた。 ・説明+参考資料をもう少し増やしていただけると、大学に持ち帰った際に助かります。
問5の選択理由	<ul style="list-style-type: none"> ・実際の業務にも反映できそうな内容でした。 ・国立、私立、米国の様々な事例が聞けた点。 ・教学マネジメントと全学的なマネジメントを把握整理して理解したいが、教学マネジメントに重点がおかれつつあるように感じた。評価業務の難しさも感じ始めた。
問6 意見・感想等	<ul style="list-style-type: none"> ・他大学の取り組みなどの話が聞けて良かったです。 ・学習成果がいかに重視されているかの現状、実態が理解できた。どこの大学でも頭を抱えている学生調査について、さらに深く議論できるとよいのではないかと。 ・IRにおけるICTの活用についても伺いたかった。 ・時間配分が厳しかったのではないかと印象を受けました。

主催者コメント：

アンケートへのご協力、ありがとうございました。開催趣旨に照らして、シンポジウムは概ねご期待に添える内容であったとの評価をいただいております。一方、それぞれの関心に合致した講演について、より踏み込んだ内容を聞きたい、資料が欲しい、といった多数のご意見・ご要望をいただいております。これらの点は、今後の企画立案の参考とさせていただきます。